



さとやま

12月に見られるいきもの



今年の11月は、中旬頃から一気に気温が下がってきました。また、昼夜の寒暖差が大きかったため、各地で美しい紅葉が見られたようです。12月には、里でも雑木林ならではの色とりどりの紅葉が見られることでしょう。

杉並木道やトンボの里、万灯山エリアでは、足元で**フイチゴ**の実がおいしそうに色付き、**カラスウリ**は、絡みついた木の葉が落ちると、遠くからでもよく目立ちます。変わった形の**サネカズラ**の実は、気温が下がるとさらに赤みが増していきます。**テイカカズラ**の二股の果実が割れて、中から大きな綿毛の付いた種子があちこちに引っかかっています。

万灯山山頂付近では、かぎ万燈のときに刈られずに花をつけた**オケラ**も、綿毛の付いた種子が現れます。

ハンノキ広場や中央広場では、**カワラハンノキ**や**マンサク**の花芽がもう春の準備をし、月末近くには、杉並木道の入り口で、気の早い**ウメ**の花が見られることがあります。

寒さ対策をして、こんな初冬の里を散策してみてください。



フイチゴ



カラスウリ



サネカズラ



テイカカズラ (種子)



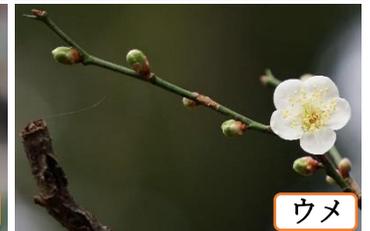
オケラ



カワラハンノキ



マンサク



ウメ

里の生き物紹介

赤い宝石・青い宝石

万灯山へ向かう急な階段を登った先の道の両側に、細長い葉の草がたくさん生えています。12月頃、その葉をかき分けると、鮮やかなサンゴのような赤い実が見つかります。



これは、キジカクシ科に分類される、常緑多年草のキチジョウソウです。半日蔭の少し湿った場所を好み、地下茎を伸ばして、株が拡大していきます。そのため、林床の広い範囲にじゅうたんのよう広がっていきます。



秋、赤紫色の花が、花穂の下から上に順番に咲いていきます。上の方は雄しべだけで、雌しべのない雄花、下の方は雌しべもある両性花です。

名の由来は、吉事があると開花する伝説からですが、実際は、毎年花が咲きます。

里では、花が10月頃から咲き始め、12月にも残っていることがあり、実が短期間で色付くので、花と実が同時に見られることもあります。実は、動物に食べられることで、分布を広げていきます。

万灯山への道をさらに登っていくと、今度はコンクリートで舗装された場所の両脇に、長い葉が塊になってたくさん生えています。その中には鮮やかなコバルトブルーの実が隠れています。



こちらは、同じキジカクシ科の常緑多年草の**ジャンヒゲ**です。日蔭に強く、水はけのよいところを好みます。このため、湿ったところが好きなキチジョウソウとは別の場所に群生しているようです。匍匐茎（ランナー）を出して株を増やしていきます。

花は6～7月の初夏に咲きます。花穂から花茎が下向きに曲がって淡紫～白色の花が付きます。



花が終わると実が付きませんが、11月頃までは黄緑色をしたままです。12月頃になると、やっと色付いてきて、気温の低下とともに色が深くなっていきます。花の咲く時期はキチジョウソウよりはるかに早いのに、色付くのは後になってしまいます。

名前は、老人の能面である「尉（じょう）」のあごひげに葉の形を当てた「じょうのひげ」が由来だと言われています。他にも「リュウノヒゲ」「ネコダマ」などの別名があります。

肥大した根を乾燥したものは、「麦門冬（ばくもんどう）」という、鎮咳・強壯の生薬として使われます。

こんな2種類の宝石を、葉をかき分けて探してみてください。



里では、同じキジカクシ科の、**ヤブラン**、**ヒメヤブラン**があります。



ヤブランは、万灯山へ向かう道や長円寺などで見られます。民家の庭などにも植えられています。ヒメヤブランは万灯山山頂付近で見られ、花はヤブランとそっくりですが、花穂が短く、花の数も少ないです。実は晩秋に熟し、黒色です。

11月の行事紹介



「万灯山へ秋のお花畑を見に行こう」の講座を11月3日(祝)に開催しました。

青空のもと、万灯山山頂までウォーキングしながら、高須講師から秋に咲くツリガネニンジンを始め、色々な植物について詳しく解説をして頂き、楽しく観察ができました。

写真は、万灯山山頂で休憩し、山頂でのお弁当や西方面には知多半島から名古屋港などを望むことができ、素晴らしい景色と秋の里山を満喫できたようです。

12月の行事予定

4日(日)	クリスマスを里山リースで彩ろう	20名	AM9:30~11:30	磯貝はるみ
-------	-----------------	-----	--------------	-------

内容 ~ 里山でツルや木の実を採取し、オリジナルなクリスマスリースを作ります。

18日(日)	正月飾りを作ってみよう	20名	AM9:30~11:30	当園職員
--------	-------------	-----	--------------	------

内容 ~ 里山の竹を使って「花器」を作り、梅や松、センリョウなどで正月飾りを作ります。

1月の行事予定

15日(日)	お花炭を焼こう	20名	AM9:30~11:30	山口信夫
--------	---------	-----	--------------	------

内容 ~ 里山で採取した植物を空き缶に入れて焼き、アートや炭のオブジェ等として活用します。

29日(日)	里山で野鳥を観察しよう	20名	AM9:30~11:30	高田俊洋
--------	-------------	-----	--------------	------

内容 ~ 冬の里山で北から渡って来たカモの仲間や里山で過ごす小鳥を観察します。

- ◇ **参加受付**は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順に受け付け、来園、または電話受付し、お申込みは本人、もしくはその家族までとします。なお、申込者が**6名以下の場合**は開講しません。
- ◇ **参加申込者**は傷害保険に加入するため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◇ **当日の天候や新型コロナウイルス感染症の拡大防止**のため、講座の中止・延期、または講座の内容を変更する場合があります。
- ◇ 原則、**参加費は無料**ですが、講座により**材料費は実費**を申し受けます。[講師に直接払う]
- ◇ **各講座の詳細な内容**については、直接ネイチャーセンターにご確認ください。

西尾いきものふれあいの里ネイチャーセンター

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始「12/28~1/4」 ◆発行 西尾市環境部 環境保全課